

I 研究テーマ及び研究計画

1 研究テーマ

「こころ からだ はずむ 柏っ子 ～幼児の体力・運動能力の向上をめざして～」

【テーマ設定の理由】

○「子どもの育ちに関する課題」から

近年、子どもたちを取り巻く環境の変化が子どもの育ちにも影響を及ぼし「コミュニケーション能力」や「忍耐力」の不足など様々な課題が指摘されているが、その中に「体力や運動能力の低下」もあげられている。また、平成20年7月に文部科学省が策定した『教育振興基本計画』の「特に重点的に取り組むべき事項」として、「豊かな心と健やかな体の育成」の中で「子どもの体力について昭和60年頃の水準への回復をめざす」とある。

○「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」から

柏市内には幼稚園が34園（公立1園・私立33園）、保育園が41園（公立23園・私立18園）あり、幼稚園教育要領や保育所保育指針を基本にした上で、それぞれが特色ある教育に取り組んでいる。その中で市内幼稚園・保育園（認定こども園も含む）と連携した共同研究を推進するには、幼稚園教育要領や保育所保育指針の5領域のねらい及び内容とかかわりの深いものが共同研究のテーマとしてふさわしいと考えた。幼稚園教育要領や保育所保育指針のねらいと内容をみた場合、最初に『健康』があり、そのねらいの1つが「自分の体を十分動かし、進んで運動しようとする」である。

○「小中学校の全国体力調査と児童生徒へのアンケート結果」から

平成23年度の柏市小中学校の運動能力全国調査結果を見ると、記録の伸びが大きかった一昨年度に比べ、かなり低下傾向にある。また、児童生徒へのアンケートから運動をする子とほとんどしない子の二極化する傾向があり、文部科学省は「小学校入学前から体を動かす習慣づけを始めるべき」としている。

体力や運動能力は、生涯にわたって健やかに生きる力の基本であり、体力がないと、物事に意欲的に取り組む気力や学習における集中力も不足してしまう。また、幼児期は歩く・跳ぶ・投げる・つかまるなどの基本的な動きやバランス感覚が著しく発達する時期であり、幼児期の運動経験や運動量がそれ以降の運動能力や体力に大きく影響していく。そこで、柏市においても課題となっている「子どもの運動能力や体力の向上」のためには、幼児期から進んで運動し体力をつけることが重要であると考えた。

以上のようなことを踏まえて、本テーマを設定した。

2 研究目標

- 遊びを充実させていく中で楽しみながら進んで運動しようとする意欲を育て、柏市全体の幼児の健やかな成長をめざす。
- 各園の園児の運動能力の現状を把握して、カリキュラムの見直しや環境設定の工夫、家庭との連携等の実践を通して保育の向上を図るとともに、柏市の幼児教育の充実を図る。

3 研究組織

共同研究推進委員会

○幼児教育に関する「共同研究」の推進役として、研究テーマに関する情報収集、研究目標の設定、研究方法や内容等の計画を行う。また、研究発表会の開催、研究報告書の発行等を行う。

《委員構成》

委員長	私立幼稚園協会会長
副委員長	柏市立教育研究所長
	私立幼稚園協会研究部長
委員（10名）	私立幼稚園協会研究副部長
	私立幼稚園協会主任会（2名）
	私立認可保育園連絡協議会（3名）
	柏市立保育園（2名）
	柏市立教育研究所幼児教育担当（2名）
顧問	聖徳大学大学院准教授（体育学）

共同研究協力員（各園1名）

- 共同研究に参加する市内公私立幼稚園及び保育園から1人ずつ委嘱する。
- 「共同研究推進委員会」で協議したことをもとに、所属する園において中心になって共同研究を推進する。（研究テーマに基づいた実態調査、現状と課題の把握、課題解決に向けた実践及び実践報告のまとめ等）
- 共同研究推進委員はこれを兼ねることができる。

4 研究内容と方法

- ・市内幼稚園・保育園で運動能力テストを実施して柏市としてデータをまとめ、幼児の運動能力全国調査と比較して柏市及び各園の現状と課題を明らかにする。結果のよかったものについても分析する。
- ・幼児の家庭状況や保護者の意識に関するアンケート調査を実施し、幼児の運動能力との相関関係をデータとしてまとめる。
- ・運動能力測定やアンケート調査をもとに、各園で課題解決に向けた手だてを話し合い、実践する。
- ・柏市の実態をもとに、子どもたちの運動に対する意欲を高める遊びを「わくわく運動遊び」として紹介し、遊びを充実させていく。
- ・今年度の調査結果と各園の実践例を「研究のあゆみ」にまとめるとともに、「共同研究発表会」を開催して報告する。

《研究の重点》

研究内容	研究方法	今年度の重点
園児の実態把握	運動能力測定	◎
	園生活調査	○
	☆家庭生活調査☆	◎
運動遊びの充実	環境設定やカリキュラムの見直し	○
	わくわく運動遊びの充実	◎
	家庭との連携	◎

5 研究計画

- (1) **運動能力測定** ○測定期間 5月～6月中
○対象：年中・年長児の全員実施を原則とする。(園の実態で抽出児も可)
身体的理由等がある場合はできるものだけ測定。(種目別に平均)
- (2) **家庭調査** ○調査期間 5月～6月中
○家庭状況や保護者の意識に関するアンケート調査を実施
- (3) **運動遊び紹介** ○幼児期に大切な運動の5つの要素から「わくわく運動遊び」の紹介
- (4) **結果報告** ○提出日 7月4日(主任研修会)
○提出物 ①「運動能力測定記録」
②「家庭生活調査」
③「園生活調査」
- (5) **全体集計** ○各園への報告 8月24日
○教育研究所で柏市全体の集計結果をまとめる。
○柏市全体の集計結果を配付
- (6) **園の実践** ○柏市全体の集計結果と課題から、各園の課題を明らかにする。
○園の課題をもとに、運動能力を高めるための手だてを考える。
○各園の実態に合った実践に取り組む。
- (7) **実践報告** ○最終提出日 1月16日
○各園の課題と実践をまとめ、推進委員会に報告する。
○研究推進委員会で、「柏市の調査結果と課題」をもとに今年度の共同研究
について考察。

6 研究報告

- 調査データや各園で取組んだ事例を研究のあゆみにまとめる。
○共同研究発表会を開催する。幼児教育関係者だけでなく保護者や一般市民も対象とし、運動・体力・健康に関する講演も行う。

